

Corporate Profile

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



トレーラーハウスは、「必要なときに必要な場所へ移動できること」
「スクラップ＆ビルドではなく資源の有効活用ができること」
これらを実現できるサステナブルに適した製品です。

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



トレーラーハウスデベロップメント株式会社

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 9F
TEL 03-6206-2641 / FAX 03-6206-2642

公式サイト



Instagram



栃木工場

〒328-0135 栃木県栃木市千塚町1724 千塚産業団地内
TEL 0282-25-5420 / FAX 0282-25-5421

西日本事業所

〒520-3308 滋賀県甲賀市甲南町野田539-1
TEL 0748-78-0162 / FAX 0748-78-0163

トレーラーハウスを文化に

To the future

■ 企業理念

私たちは人への想いを第一に、
技術革新を日々絶やさず、
常識にとらわれない新しい発想を
絶えず持ち続け、
世の中がより一層暮らしやすくなるものを
創り出していきます。

事務所・店舗・住居に使用できる自動車であるトレーラーハウス。
この新しい商品を、現行法を遵守しながらコンプライアンスを守り、
常識にとらわれない新しい発想で商品開発や利便性を提案します。
みなさまに喜ばれるような世の中を自らが創り出し、
新しい時代をけん引していきます。

Technological Capability

技術力

栃木工場

トレーラーハウスデベロップメント株式会社は、月産100台以上を可能にする
自社工場を持ち、厳正な品質管理によってコンプライアンスを遵守した
安心・安全なトレーラーハウスを製造・販売しています。

※栃木工場においてシャーシの製造および検査における品質管理基準が認められ
ISO9001の認証を取得しています。

※日本自動車車体工業会 (JABIA) に加盟し、定められた環境基準を満たしているため
弊社のシャーシは環境基準適合車として認定されております。



型式認証取得 O2クラス新型自動車

日本初の型式認証を取得したトレーラーハウスのシャーシ

当社は将来的なトレーラーハウスの需要拡大に応えるべく
被けん引自動車 (トレーラーハウスシャーシ) において、
日本初となる車両区分 (電気ブレーキを使用した被けん引
自動車で総重量3.5トン未満の分野) での型式認証を
2021年2月15日に取得いたしました。

現在「THD20FT」をベースに、さらにコストダウンを実現
した量産型製品を研究開発しています。この量産型を
普及させ、トレーラーハウスの文化発展に貢献することが
私たちの願いです。



特許保有

安全性や利便性を追求する トレーラーハウスの独自技術

シャーシに搭載しているブレーキ
コントロールシステムをはじめ、
トレーラーハウスに関する特許・
実用新案を取得してきました。

これからもトレーラーハウスが
安心して利用できるように、さま
ざまな技術研究を進めていきます。



DX推進

製造工程の進捗・在庫管理のクラウド化

工程管理をクラウド化することで、現在の
進捗状況がオンラインでどこから
でも確認でき、本社業務や工場の作業
効率化を実現しました。

品質管理についても、部材の発注から
在庫管理までシステムを一元化した
ことで、部材の入荷時期の特定と早期改善をサポートしています。

今後もさらなるDX推進を展開し、サービスの向上、業務の効率化、
社員がより働きやすい環境づくりを実施していきます。



— シャーシからトレーラーハウスまで全てを製造しています —

特
徴

1



トレーラーハウス専用シャーシ

CHX

一台二役、 4サイズ。

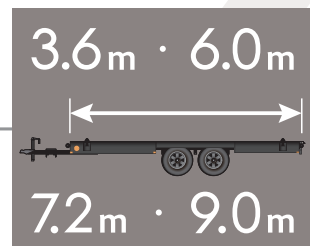
2



可変式コンテナロック

上下に昇降可能な
一台二役の可変式コンテナロック。
ISO規格20ft海上コンテナ / ユニットハウス /
トレーラーハウスなど多種多様な上物に対応。

3



選べる4サイズ

上物の用途に合わせて、
シャーシの長さを4サイズから選べます。
3.6m・6.0m・7.2m・9.0m



軽量化により最大積載量UP

構造・鋼材の見直しにより、強度はそのままに軽量化を実現！
これにより、最大積載量が増加。

製造力

Productive Capacity

フリーレイアウト トレーラーハウス

FREE LAY



全サイズで軽量化 軽くて強いトレーラーハウス



1 軽量化により室内備品の積載重量UP↑

より多くの内装レイアウトが可能に。

2 業界初 スチールハウスの「CFS工法」を採用

建築と同等の高剛性と高耐久を備えながら軽量化も実現。



3 優れたデザインと構造

「グッドデザイン賞」受賞のエリアノと協働で生まれた内装デザインと構造設計。



4 ハウスの大きさも4サイズ

さまざまな用途に合わせて、4サイズを展開。



5 多様な用途で活躍

さまざまな用途に合わせて選べるレイアウトプラン。



トレーラーハウスは公道を適法に走行できる 自動車 です

公道を適法に走行できるよう、灯火類（ウインカー／テールランプ／反射板／車幅灯／ナンバー灯）と電磁ブレーキシステムを備えた「被けん引自動車」です。これにより建築物扱いにはならず、市街化調整区域でも設置できます。建物が建てられない場所の解決策として、活用が広がっています。



トレーラーハウス保険

TRAILER HOUSE INSURANCE



東京海上日動

ご購入いただいたトレーラーハウスの不測かつ突発的な事故を補償します

すべてのトレーラーハウス製品には、当社と東京海上日動火災保険株式会社にてスタートした独自の「トレーラーハウス保険」が2年間付いており、万一発生した「火災」「落雷」「破裂・爆発」「風災・雹災・雪災」「盗難」「煙害・給排水管の事故による水漏れ」など不測の事態にも安心です※。 ※一部対象外の場合があります。



導入事例

自治体や
企業が抱える
問題・課題を
トレーラーハウスで
解決

世田谷区役所 / 環境政策部 環境保全課

喫煙マナー向上で周辺の苦情が激減



低床 スモークキューブ 世田谷区下北沢駅前

アサヒロジスティクス株式会社 / 運送事業

車庫を利用して営業所認可を取得



オフィス 埼玉県東松山市

株式会社スマイル スマイル住まいの走水 / 介護施設

浴室工事終了までの短期レンタル利用



シャワーキューブ 神奈川県横須賀市

CSR活動

想いを届けてきたトレーラーハウス

トレーラーハウスを通じた社会貢献を行なっています。
どこでも移動可能な車両であるトレーラーハウスは、災害時において有効な解決手段と言われています。

能登半島地震で無償貸出しの災害支援活動



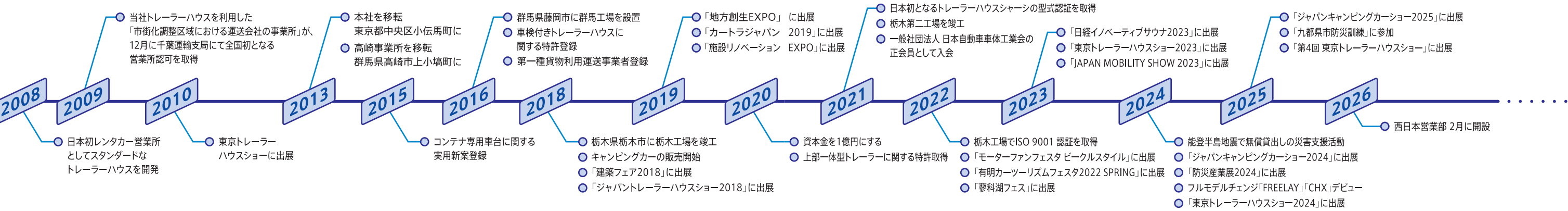
2024年1月1日に発生した能登半島地震において、
無償貸出しのトレーラーハウスを被災地へ届け、
被災者やボランティアのみなさまの生活を支援しました。

新型コロナウイルス対応で無償貸出し活動



新型コロナウイルスへの社会貢献活動として、2020年3月より
医療用トレーラーハウス「MEDICAL CUBE(メディカルキューブ)」を
医療機関向けに計20台の無償貸出しをしました。

沿革



会社概要

商 号	トレーラーハウスデベロップメント株式会社 Trailer House Development Co., Ltd.
事業内容	トレーラーハウスの輸入・製造・販売 各種トレーラーハウスの研究・開発・製造 トレーラーハウスのレンタル トレーラーハウスの運搬 トレーラーハウスシャーシのパーツ販売 アウトドア施設の企画・運営 デッキ工事
本 社 栃 木 工 場 西日本事業所 西日本営業部	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 トロティ小伝馬町9F 〒328-0135 栃木県栃木市千塚町1724 (千塚産業団地内) 〒520-3308 滋賀県甲賀市甲南町野田539-1 令和8年2月 開設
設 立	平成3年2月1日
資本金	1億円
決 算	1月
従業員数	85名(グループ計 アルバイト含む)
役 員	代表取締役社長 大原 邦彦 取締役副社長 坂本 有美 専務取締役 板垣 和洋 取締役 今村 良将 監査役 甲本 晃啓 執行役員 西川 徹 執行役員 明石 幸男
グループ会社	日本けん引輸送株式会社
取引銀行	東日本銀行 みずほ銀行 足利銀行
許 認 可	建設業許可 栃木県知事許可(般一7)第27423号
加盟団体	一般社団法人 日本自動車車体工業会 一般社団法人 日本トレーラーハウス協会 一般社団法人 日本グランピング協会 東京商工会議所